

令和5年度 学校経営報告（定時制課程）

都立北豊島工科高等学校長 中里 真一

重点目標	当初の目標数値等	達成数値	成果と課題
中途転退学者の減少 （魅力ある学校生活の構築）	中途転退学者の減少（学校全体で3名以内） ○ 1年生～3年生 在籍数の1割以内（3名以内） ○ 4年生 全員卒業	○ 中途転退学者数 2名（※昨年度2名） 1年 1名 2年 1名 3年 0名 4年 0名	「あきらめない、あきらめさせない」を掲げて5年目。補習補講の充実や丁寧な指導の徹底を実践中。一部入学時よりほとんど登校しなかった生徒もいたが、少人数指導の利点を生かし、きめ細かい指導と生徒とのコミュニケーションを実現することで学校生活の楽しさを感じている。不登校経験者も学校生活を楽しんでいる。次年度以降もこの定着率を確実にものとしていく。
進路希望の実現 （4年間を見通したキャリア教育の実現）	○ 進路内定 100% ○ 資格取得の推進 10名以上	○ 進路内定 100%達成（※昨年100%） ○ 資格取得の推進 各資格合格者の合計は10名であった（延べ48名） （漢字能力検定・情報技術検定・日本語検定）	進路内定率は今年度も100%を達成できた。卒業見込みがつかない生徒もいたが、全員の生徒の卒業及び進路が決定した。最後まであきらめずに活動を続け全員が進路を決めることができた。 本年度も、漢字検定に取り組み延べ40名以上の生徒が挑戦し検定に合格した。工業科目として情報技術検定2級の合格者も出すこともできた。また溶接コンクールでは学校としての出場が6年連続となり定着した。常に関東大会に出場するなど、目覚ましい成果をあげている。
安心・安全な教育環境	○ 学校行事の活性化 ○ 学校事故 ゼロ ○ いじめ・体罰 ゼロ	○ 学校行事等での活躍：文化祭、学年行事の実施、地域イベントへ（地域防災・地域祭り）の参加 ○ 学校事故はゼロであった（※昨年 ゼロ） ○ いじめ・体罰： ゼロ ○ 補習補講の充実：始業前や長期休業日痛中の補習回数の上昇	部活動の活性化は厳しいが、放課後、体育館を活用した運動の機会の充実を図り、多くの生徒が参加している。学校行事や地域イベントへの参加などを通して生徒の帰属意識は高まり、特に文化祭での来場者対応や地域イベント（計3回参加）での対応では生徒の成長を非常に感じ、コミュニケーション力等の伸長にも大きく寄与できた。また、いじめや体罰はない。今年度も個別対応の補習補講が十分に行われ、日本語指導や基礎学力定着の指導が進んできた。今後も続けていく。
広報活動の充実と募集対策	○ 学校説明会等の充実：2回以上 ○ 体験入学：1回 ○ HP等の充実：更新回数100回以上 ○ 中学校教員向け説明会 1回以上	○ 学校説明会：2回（特別支援関係を含む） ○ 体験入学、学校見学：1回 ○ HP等の更新回数：HP・Twitter 合わせて100回以上（HP42回以上、Twitter40回以上） ○ 説明会（電話連絡含む）100校 ○ 個別での相談対応等の実施	区内及び近隣区の中学校中心に中学校訪問を全教員で取り組んできた。特に各中学校に出向き個別の相談対応等を実施し募集につなげることができた。また中学校教員向けの体験授業を実施し工業高校・定時制の理解促進につなげることができた。TwitterやYouTube等のSNSの活用はさらに広げ再生回数は多いものでは数千回数にも上る動画もあったが、残念なことに新入生1名となった。
学校運営の改善	○ 学校満足度を高めていく ○ 分掌・委員会の精査 ○ 服務事故 ゼロ ○ 教職員のライフワークバランス	○ 学校評価アンケート等の外部評価は学校の取り組みに対して肯定的な評価が85% ○ 分掌のメンバー構成、委員会の精査 ○ 服務事故 1件 ○ 時間外勤務時間の減少に取り組む・テレワークの活用	入学してよかったと感じる保護者は9割以上で保護者の満足度は高い。生徒も登校することを楽しみにしており、学校満足度という点でも90%台である。地域行事等への参加を通して地域からの信頼も得つつある。特に、防災訓練参加（ロケットストروب制作）、特別支援学校へ作品（ポッチャ競技のランプス）の寄贈なども行い生徒の自信回復につなげることができた。今後も特別支援学校や地域との連携を通して生徒の活躍の場を作ってきた。また、定着し始めている。